



6月号の主な内容

定価 617円 (税込み)

特集1

今どきの移住スタイル

都会から農村へ移住する人が増えています。一方で農村地帯では過疎と高齢化が進み、移住者が地域に定着できるかどうかは重要な課題。そこで、実際に移住した人たちの声を集めながら、現在の移住者が求めているもの、受け入れる地域が心がけるべきことを紹介します。

特集2

健康具合が一目瞭然！ よいウンチ、悪いウンチ

便は胃腸をはじめとした内臓の調子を顕著にわれわれに示してくれるものです。便の色や硬さ、においなどから、自身の体がどんな状態であるかを知る方法を図解しつつ、診断結果をもとに、よい便を出す（健康になる）ためのアドバイスをします。解説は、「うんち博士」としてテレビなどでおなじみの辨野義己氏（理化学研究所研究員）です。

特集3

名人に教わる 極上のラッキョウ漬け

今まで食べていたものとはひと味もふた味も違う、絶品のラッキョウ漬けを作る方法を、ラッキョウ産地・鳥取の名人に直伝してもらいます。ちょっとしたコツでカリカリのおいしい食感に仕上げる方法など、目からウロコの情報が満載です。

農ライフのすすめ

多肉植物でお気軽ガーデニング

ユニークな愛らしい姿が魅力の多肉植物。育てやすく小さなインテリアとしても楽しめるため、人気が高まっています。比較的安価で、手に入りやすい多肉植物を紹介し、初心者でも気軽に楽しめる、管理の仕方から飾り方までを紹介します。



定価 606円 (税込み)



定価 483円 (税込み)

《世界・日本の社会経済を読み解く企画》

特集 グローバル時代の「食料安全保障」はどうあるべきか

食料・農業・農村基本計画は、2020年の改訂に向けた議論が始まっています。TPP11や日EU・EPAが発効しており、今後アメリカとのTAG交渉がスタートします。農業もグローバル経済に取り込まれたいま、食料安全保障は、自給率や自給力という従来の物差しだけで考えていいのでしょうか。識者からの提言を踏まえ、これからの時代にふさわしい「食料安保のあり方」を探ります。

特別企画

動物写真家・秋山知伸が撮る 幻のユキヒョウ

ユキヒョウは、標高が高く、植物のほとんど生えない厳しい環境に住む孤高の王者と呼ばれています。動物写真家の秋山さんは、ユキヒョウを追い求め、最初の撮影に成功するまで、マイナス20℃のテントで45日間過ごした経験の持ち主です。秋山さんがなぜユキヒョウを追いかけるのか、美しくもカッコいいユキヒョウの写真とともに紹介します。

オリジナル「グミ」と「ラムネ」を作ろう

ぷにゅんとした歯ごたえと、おいしいフルーツ味の「グミ」と、シュワッと溶ける食感が楽しい「ラムネ」を手作りします。どちらも実験気分です。楽しく作れます。

LINEスタンプ「地上マンとゆかいな仲間たち」も好評発売中！



※企画・タイトルは変更することがあります。

お申し込みはお近くのJA（農協）へ